

大手前学園

新型コロナウイルス感染拡大防止対策

ガイドライン



離れていても、つながろう
OTEMAE

2020年6月1日

法人本部総務部

本ガイドラインは、本学園が対面(面接)授業を再開するにあたり、学生及び教職員等の確実な感染防止を図り、安全・安心な修学・就業環境を確保するためのものであり、決して努力目標ではなく、全員が必ず遵守しなければならないものである。また、本ガイドラインで示されていることを受け、各主管部課で具体的対策を講じるものとする。

1. 入構ルールについて（全学生、全教職員、全関係者対象）

- ①入構時及び学内はマスク着用を必須とする（不着用の場合は入構は不可）
- ②校舎及び教室に出入り(両方とも)の際は必ず備え付けの消毒液で手を消毒する
- ③「健康チェック表」で毎日チェックを実施し、少しでも異常があった場合は通学してはならない。また、通学時は全員が当該シートを携帯しておく
- ④学生の通学は、対面授業を受講する場合か、特別な理由がある場合に限る
※部外者は「健康チェック表」は非対象であるが、来校時にマスク着用されていない場合は入構は遠慮頂く

2. 対面(面接)授業実施ルールについて

- ①授業中も教員・学生ともマスク着用を必須とする(但し、体育実技の授業は除く)
(教員が学生に近づいたり、教室内の移動が多い場合等はフェイスシールド^{*}をする場合がある)
- ②教室は窓や入口扉を開け、適宜換気を充分に行う
- ③教室内の着席は最前列と前後左右を一つずつ空ける(収容定員の1/2程度で実施)
但し、パソコン教室は⑥の通りとする
- ④授業中も教員の指示によりディスカッションを行う場合を除き、学生同士の不要な会話はしない
- ⑤授業終了後は学生自身が備え付けの消毒用器材で机と椅子を消毒する
- ⑥パソコン教室は飛沫が飛ばないように席間を遮蔽するとともに、キーボード^{*}とマウスは備え付けのラップ^{*}等で覆い使用する。使用後は使用した学生が外し、設置のゴミ箱に捨てる。
また、通常教室と同様に学生自身が備え付けの消毒用器材で机と椅子を消毒する。
更に、パソコン教室等出入口が狭い教室の場合は一方通行とするなど工夫し、渋滞を避ける。
- ⑦教員用のマイク・机・椅子は教員が講義終了後、備え付けの消毒用器材で消毒する
- ⑧更衣室等も教室同様出入口に消毒液を設置し、手を消毒する。また、時差使用等入場制限をして3密の状況を避ける。また、教室の机・椅子と同様、使用した学生が備え付けの消毒用器材で触れた部分を消毒する

3. 学内での行動について

- ①学内では常時マスクを着用する
- ②授業間の自由時間中も身体的距離(フィジカルディスタンス)を保ち、密集・密閉・密接を避けるとともに、大声での会話はしない
- ③食堂や屋外ベンチでも同様に3密を避ける
- ④当日朝の「健康チェック」時に異常はなかったが、学内で異常を感じた場合は速やかに学生課・教務学生課・通信教育部事務室に電話し、指示を仰ぐ

以 上